

山形市蔵王温泉スキー場の旧白洲次郎山荘「ヒュッテ・ヤレン」の保存運動に取り組む東京のNPO法人「元気・まちネット」(矢口正武代表=戸沢村出身)は、同山荘の「保存・活用」のホームページ(HP)

を立ち上げた。福岡県に白洲の「語る会」が発足する一方、賛同者から白洲の署名の入った宿帳が届くなど運動は広がりつつある。5月5日には仙台市で、山荘と蔵王をテーマにミニフォーラムを開く。

蔵王温泉の旧白洲次郎山荘

保存・活用へHP開設

元気・まちネット 5日、仙台でフォーラム



旧白洲次郎山荘「ヒュッテ・ヤレン」の復元・保存に向けて開設されたホームページ

白洲次郎は戦後の混乱期に日本国憲法の草案作成に携わり、連合国軍総司令部(GHQ)と渡り合った。1951(昭和26)年、59年に東北電力初代会長を務め、蔵王が気に入って山荘を建てたという。山荘は老朽化が進んでおり、「まち

ネット」が保存に向けた募金運動に乗り出した。

「保存・活用」のHPは、山荘を核に蔵王の振興を図る「鎮守の森構想」や保存・活用を目的、募金に関する情報などを掲載。やはり募金のために作製したパンフレットをダウンロード

からアクセスできる。

2月に蔵王でトークイベントを開いたが、福岡から参加した20代の男性がその後、「白洲次郎を語る福岡の会」を結成。運動に賛

同する横浜市の男性から、白洲次郎が定宿にしていたらしい京都の旅館の宿帳が届けられた。宿帳に

は白洲のほか義父で実業家、政治家の樺山愛輔、首相、蔵相を務めた高橋是清の長男是賢らの名前もある。

矢口さんは「山荘を一般公開できるようになった際に展示するものを少しずつ集めたい」と話す。

仙台でのミニフォーラムは5日午後1時から、東北

8699。